

(様式6-A) A. 雑誌発表論文による学位申請の場合

小林 裕樹 氏から学位申請のため提出された論文の審査要旨

題 目

Cross-sectional Study of the Hip Joint Condition in Young Baseball Players  
(成長期野球選手の股関節機能に関する横断的研究)

Progress in Rehabilitation Medicine 2021; Vol. 6, 20210027

Hiroki Kobayashi, Tsuyoshi Tajika, Toshiro Warita, Takanori Kitagawa,  
Shuhei Takamine, Hiroaki Fujita, Nobumasa Kushima, Shogo Hashimoto,  
Hitoshi Shitara, Koichi Okamura, Yoichi Iizuka, Takashi Yanagawa,  
Masaaki Sakamoto, Kenji Takagishi, Hirotaka Chikuda

論文の要旨及び判定理由

野球の投球動作において、股関節は下肢から上肢へエネルギーを伝える運動器であり、その機能の制限は投球障害の原因となりうることが報告されている。しかし、成長期野球選手の股関節有症率と股関節の可動域と筋力を評価した報告は少ない。本研究は成長期野球選手における股関節症状の有症率、投球側と非投球側の股関節の屈曲、内旋、外旋可動域と内旋、外旋筋力及び年齢との関連を横断的に調査した。

本調査の結果では股関節有症の選手はおらず、投球側と非投球側の股関節内旋と外旋可動域に有意差があり、年齢と股関節可動域は負の相関、年齢と筋力は正の相関があった。本研究において成長期野球選手の股関節の有症者はまれであり、股関節に症状のない成長期野球選手の各年齢層における股関節可動域と筋力を評価し、股関節症状を有する成長期野球選手の股関節機能との比較の参考となりうる可能性を示したと認められ、博士（医学）の学位に値するものと判定した。

(令和3年9月13日)

審査委員

主査 群馬大学教授（医学系研究科）  
リハビリテーション医学分野担任 和田 直樹 印

副査 群馬大学教授（医学系研究科）  
放射線診断核医学分野担任 対馬 義人 印

副査 群馬大学教授（医学系研究科）  
眼科学分野担任 秋山 英雄 印